

経済社会のあるべき姿と 経済新生の政策方針

平成 1 1 年 7 月 5 日

経 済 審 議 会

経済社会のあるべき姿と経済新生の政策方針

～ 目 次 ～

序章 知恵の時代へ	1
第1節 最適工業社会の達成と新時代への転換	1
第2節 「あるべき姿」の条件（未来変化への対応性）	3
1. 知恵の社会化対応	3
2. 少子高齢化対応	3
3. グローバル化対応	4
4. 環境制約対応	4
第3節 「あるべき姿」の目標：「最大自由と最少不満」	4
1. 「個」を基盤とした自由と「公」の概念	4
2. 人権と尊厳が守られる経済社会	5
3. 成長を維持する経済	5
第4節 「あるべき姿」の概念（コンセプト）[多様性と創造的変革]	6
1. 自立した「個」を基盤とした経済社会	6
2. 多様多角的な繋がりのある複属社会	6
3. 経済社会における「官」の役割	7
4. 創造的に変革する企業経営	8
5. 多様な補充源のある経済社会	8
第5節 経済選択の基準としての価値観[新しい効率、平等、安全と自由]	9
1. 効率	9
2. 平等	10
3. 安全	10
4. 自由	11

第一部 「経済社会のあるべき姿と経済新生の政策方針」策定の意義	12
第1章 戦後の経済発展と歴史的な大転換	12
第1節 戦後の日本の市場システム	12
第2節 歴史的な転換の内容	12
1. 多様な知恵の時代への移行	13
2. 少子高齢化の進展と減少に転ずる人口	13
3. グローバル化	13
4. 環境、食料、資源・エネルギー問題による制約の高まり	13
第2章 「あるべき姿」を選択する必要性	14
第3章 「経済社会のあるべき姿と経済新生の政策方針」の基本的役割とその実行	15
第1節 基本的役割	15
第2節 政策方針の実行	15
第二部 経済社会のあるべき姿	16
第1章 多様な知恵の社会	16
第1節 経済活動の自由が備わり多様性と独創性が発揮される社会	16
第2節 個々人が「夢」に挑戦できる社会	17
第3節 性別にとらわれない社会	18
第4節 多様な個人の帰属先	18
第5節 多様性のある国土	18
1. 大都市における国際競争力のある都市機能	19
2. 地方都市の個性的・自立的発展の源泉となる突出機能	19
3. 中山間地域・離島等の多面的機能	19
第6節 情報通信ネットワーク化	20
第7節 人材の育成	20

第2章 少子・高齢社会、人口減少社会への備え	20
第1節 経済成長の重要性（成長を続ける日本）	21
第2節 長期的な人口の動向	21
第3節 年齢にとらわれない社会	21
第4節 職業生活と家庭生活が両立しうる社会	22
第5節 安心でき効率的な社会保障制度	22
第3章 環境との調和	23
第1節 循環型経済社会の形成	23
第2節 地球環境問題への対応	24
第4章 世界における位置づけ	24
第1節 世界の主要プレイヤーであり続ける日本	24
第2節 日本発の未来文化	25
第3節 アジア地域発展への役割	25
第5章 政府の役割と新しい「公」の概念	26
第1節 新しい政府の役割	26
第2節 新しい「公」の概念	26
第三部 経済新生の政策方針	27
第1章 多様な知恵の社会の形成	27
第1節 市場と事業環境の整備	27
1．透明で公正な市場と消費者主権の確立	27
2．魅力ある事業環境の整備	28
3．個人がより自由に選択したり挑戦できる環境の整備	29
第2節 多様な人材の育成と科学技術の振興	29
1．教育の充実	29
2．外国人労働者の受入れによる多様性と活力の確保	30

3. 科学技術の振興	31
第3節 多様な知恵の社会における地域経済と社会資本	32
1. 「小さな大都市」構想(ゆとりの「空間」とゆとりの「時間」の街づくり)	32
2. 独自の産業・文化を持つ地域づくり	32
3. 中山間地域・離島等の活性化	33
4. 多様な知恵の社会を支える社会資本整備	33
第4節 首都機能移転の検討	34
第2章 少子・高齢社会、人口減少社会への備え	35
第1節 安心でき、かつ効率的な社会保障	35
1. 公的年金	35
2. 高齢者医療と介護	35
第2節 年齢にとられない経済社会	36
第3節 リカレント型のライフコース	36
第4節 少子・高齢社会における街づくり	37
1. 歩いて暮らせる街づくり	37
2. 少子・高齢社会にふさわしい社会資本	37
第5節 少子化への対応	38
第3章 環境との調和	38
第1節 循環型経済社会の構築	39
1. リサイクルのための行動基盤の形成	39
2. 産業構造・技術基盤の形成	39
第2節 地球温暖化問題をはじめとする地球環境問題への対応	40
1. 国際的枠組み作りと途上国への技術支援等	40
2. 国内的な取り組み	41
第3節 環境にやさしい安全な持続的発展社会を支える社会資本	42
第4章 世界秩序への取り組み	42
第1節 世界経済のルール作りへの取り組み	42
1. WTO交渉における働きかけ	42

2．国際金融資本市場におけるルール作り	43
第2節 アジア地域の中での役割	44
第3節 世界への情報発信	45
第4節 国際経済協力のあり方	45
第5章 政府の役割	46
第1節 行政の効率化と財政再建	46
1．組織の簡素化と事業効率の向上	46
2．生産性向上のための組織編成、人事管理	47
3．財政の健全性確保	48
4．財政再建方策	48
5．行政の透明性確保	49
第2節 地方の自立	50
1．地方分権の推進と地方の自己決定能力の向上	50
2．行政の広域化の推進	51
3．住民参加の拡充	51
第6章 回復軌道へ向けての政策課題と新しい成長の姿	51
第1節 回復軌道へ向けての政策課題	51
1．日本経済の現局面	51
2．回復軌道へ向けての政策課題	52
第2節 新しい成長軌道におけるマクロ経済の姿	54